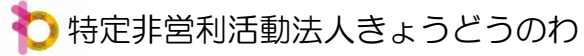


六甲アイランドの団体活性化と住民の活動参加を応援する事業



1. なぜこの事業に取り組んだのか



地域団体の共通課題「活動をもっと知ってもらいたい！」を解決したい

きょうどうのわは神戸市東灘区の六甲アイランド(2万人)で持続可能な地域づくりに取り組んでいる。2022年秋に当法人が行った意識調査(578枚回収)では、8割以上の住民が六甲アイランドについて「暮らしやすい、住み続けたい」と答えた。そのような街を作る原動力になっているのが多様な地域活動である。いっぽう島内38の活動団体にヒアリング調査を実施した結果、多くの団体から「住民にもっと活動を知ってほしい」「新しい担い手を獲得したい」という課題が出た。

そこで、団体が直接住民と交流・面談する活動見本市形式のイベント「六アイ・コミュニティフェスタ」を開催した。27団体が出展し、助成初年度の目標「知ってもらうこと」について、大きな成果を出すことができた。



第2回フェスタに34団体、活動のすそ野を広げたい！

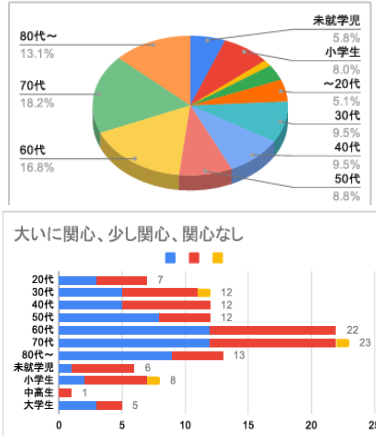
昨年度のフェスタのあと出展団体から、イベント継続を望む声が寄せられた。実行委員反省会では、第2回フェスタを開催するときは新しい担い手作りの仕掛けを強化しようという意見が出た。24年度の目標を「担い手の開拓」に置き「第2回コミュニティフェスタ」の開催後に「活動現場見学ツアー」を組むことになった。興味を持っても単独で団体に飛び込むのはハードルが高いという住民の意見に応えた企画である。



2. 活動内容と数字報告

24年度も実行委員会を組んで企画を進め、9月29日、神戸ファッション美術館4階を会場に「第2回コミュニティフェスタ」を開催した。初出展の自治会など新旧大小34団体(企業・大学・神戸市のブースを含む)が集結、住民300人が来場して昨年以上の賑わいを見せた。出展団体からの報告を集計した結果、活動参加や見学の申し込みが22件あった。

11月には8団体の協力を得て「活動現場見学ツアー」を2コース実施し、19人(うち学生3人)が参加した。参加者の中から、5人がゴミ出しお手伝いやバラ園ボランティアに加入し、3人がXmasイベントを手伝うことになった。



3. 成果と課題

フェスタのアンケートから、参加者の年齢構成を見ると0~50歳代が半分以上を占め、多世代をターゲットに祭の要素を企画に盛り込んだ効果があった。また地域活動への関心を問う質問では少し関心がある人(棒グラフの赤色)が多く、この層を活動にどう取り込むかが課題である。

4. 今後の展望

多世代交流の機会を多様に提供することで、地域参加のハードルを下げ、いつの間にか活動者のすそ野や年代が広がっているようなイメージで、住民と団体のつなぎ役や団体間連携の支援をしていきたい。本事業で地域活動を活性化し、持続可能性を引き出し、これからも暮らしやすい六甲アイランドを作れればと考えている。

***2/6には事業報告&団体交流会を開催し、次年度について意見交換、事業を進める予定。**

11/5 見学ツアー・アウトコース

←六甲アイランドを美しい街にする会

地域猫→の会 P.A.W.S.

←ローズガーデンファミリー

ごみ出し→お手伝い

11/15 (金) 見学ツアー

参加費無料

時間	内容
10:00	集合(神戸ファッション美術館4階)集合(神戸ファッション美術館4階)
10:30	ママカフェスマイル (ママカフェスマイル)
11:00	ごほらっと おやさい市 (ファッションアート1F大ホール)
11:30	RICコミュニティライブラリー (セントラルタワー2F)
12:00	解散時刻

11/15 見学ツアー・インドコース

参加費無料

↑ママカフェスマイル

←おやさい市 ごほらっと

↓CHIC

←RICコミュニティライブラリー

11/5 (火) 見学ツアー

参加費無料

時間	内容
09:30	集合(神戸ファッション美術館4階)集合(神戸ファッション美術館4階)
10:00	美しい街にする会 (A在室)
10:30	地域猫の会 P.A.W.S (両津倉庫)
11:00	RICローズガーデンファミリー (1F大ホール)
11:30	ごみ出しお手伝い (ファッションアート1F大ホール)
12:00	解散時刻